リーディングDXスクール事業　【実践事例】

奈良市立若草中学校（奈良県）【指定校】

【取組内容】　「めあてシート」と「振り返りシート」を活用した主体的に学ぶ子どもたちの姿

めあて・振り返りシート

T	U	V	W	X	Y	Z	AA
授業めあて	バレーボールの基本的なボール操作を身につけ、【アンダーハンドパス】・【オーバーハンドパス】の提出						
今日の目標目標は、わかりやすくポイントを明確ににする。	授業計画	今日の評価評価はA・B・Cの三段階 理解	積極性	雰囲気	今回の自分の評価【結果・考察・結論】 結果・・・できた。できなかった。 考察・・・結果を見て、なぜそうなったのか、どう思ったのかを考えること。 結論・・・考察したことをもとにして、次にどうするか。	チェック	文字数
ボールが落ちてくるところまで素早く移動する	動画撮影	A	A	A	ボールが落ちてくるところまで素早く移動することができました。素早く移動することで、次の動作をスムーズにすることができました。動画撮影をして、ボールをもう少し高く飛ばすことができると思いました。今回、手の力を抜いて跳ねることを意識しながら飛ばすとうまくできたので次回もそれを意識して取り組んでいきたいです。	☑	152
ボールをしっかり見て落ちてくる位置を予測し、手の力を抜いてボールを突く。	友達にみてもらう 自分で調べる	A	A	A	ボールをしっかり見て落ちてくる位置を予測してボールを突くことができた。また、手の力を抜くことについては、特に親指が痛くなったので自分で調べ、親指を付け根から使うようにすると痛くなくなった。オーバーハンドパスでは、加藤さんが「もう少し膝を使うと良いかも」とアドバースをくれたので膝を柔らかくして使うと、落ちてくるボールの下にスムーズに行き着くことができた。しかし、まだ 確実に ボールを真上に突き放すことができていないので 次は レベル２を練習するなどして一番良い手の形を覚え、乱れてもすぐに手の形を戻せるようにしたい。	☑	259
身体全体を使って手や足を連動する。	友達にみてもらう	A	A	A	アンダーハンドパスとオーバーハンドパスを手や足を連動させてすることできた。足を曲げてボールを上げるときに伸ばしたからしっかりと上に上げれたのだと思いました。西田くんにオーバーハンドパスのときは上げ過ぎだからもう少し下げてすると良いとアドバイスを貰いました。次は少し低めにしようと思います。	☑	144
ボールの動きをコントロールして、アンダーハンドパスとオーバーハンドパスをする。	友達にみてもらう	A	A	A	アンダーハンドパスのレベル２まで行けた。アンダーハンドパスをするときにボールが後ろに行ってしまったけど、「友達が気持前にしてやるといいよ」と言ってくれたので、やってみると、ボールをコントロールすることができた。次は両手を同じ高さでボールを強くと、変な方向にいかず、もっとコントロールがしやすくなると思う。	☑	152

自分はどうしたい、どうなりたいということを日常的に考えるサイクルへ

授業の初めにめあてを、授業の終わりに振り返りを書くようにしました。紙のワークシートで書いていたときに比べ、友達の書く内容を参考にできるからか、普段かけない生徒もまずは真似から入り、少しずつ自分の言葉で表現できるようになりました。

また、本校では自分で学ぶことはもちろん、他者との関わりを通じて学ぶことを主題においています。振り返りシートにも、「誰」と「なにをした」と記載させることで、個人の学びに閉じず学びを深めることができました。

結果として、これまでの「先生から教えてもらう」という姿勢から、授業の時間に「自分は何をしたい」「何ができるようになりたい」ということを考えながら学ぶ生徒が増えました。